

11月9日(水)

	A会場 (605号+606号 252席)	B会場 (608号 120席)	C会場 (607号 120席)	D会場 (609号 72席)
10:00	開会式 第40回日本医療福祉設備学会 学会長 信川 益明			
10:10		講演Ⅱ 10:10～10:40 ロボット活用による医療・看護業務改善 座 長：酒井 順哉（名城大学大学院） 「認知症者の自立生活を支援する‘対話型情報支援システム’」 講 師：井上 剛伸(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)	シンポジウムⅢ 10:10～12:00 地域見守りシステムへの取組み実態と今後の展開 座 長：渡邊 亮一(自治医科大学)	一般演題 10:10～11:00 「医療・福祉設備・機器、臨床工学・安全管理」 座 長：石田 信之(アイテック(株)) 1) 医療機器事故から見たGS1-128バーコード管理の有用性研究 安原 翔(名城大学) 2) 各鉄道駅構内におけるAED誘導表示の現状と問題点に関する研究 橋爪 勝也(名城大学) 3) 消臭カーテンのアンモニアガスに対する消臭効果の比較実験研究 高井 怜(上武大学)
10:40		シンポジウムⅡ 10:40～12:00 チーム医療を推進する職種間情報連携の在り方 座 長：武藤 正樹(国際医療福祉大学大学院)	「調剤薬局と連携した遠隔健康相談システム」 講 師：小笠原 克彦(北海道大学大学院)	
11:00		「スマートフォンとクラウド型地域連携システムで切り拓く未来型在宅医療」 講 師：遠矢 純一郎(医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック) 「iPhone・iPadを利用した医学教育と多職種間連携教育の実践」 講 師：隈本 寿一(医療法人真鶴会 小倉第一病院) 「訪問看護の現場から見たスマートフォンによる地域連携ー24時間在宅療養者と家族を支えてー 講 師：櫻井 悦子((財)芙蓉協会聖隷訪問看護ステーション千本)	「ICTを利用した地域見守りの事例紹介ー成果と課題ー」 講 師：猪野 聰之輔(慶應義塾大学大学院)	
11:10			「スマートフォンとソーシャルメディアを活用した高齢者見守り事業’とくったー’事例紹介」 講 師：吉田 敦也(徳島大学大学院)	活動報告 11:10～12:00 「医療・福祉設備・機器・管理(FM)、病院経営」 座 長：正田 良次(高砂熱学工業(株)) 1) 公的補助金を活用したコージェネレーション設備更新事業について 古京 伸也(社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院) 2) 病院のFMベンチマ-クー エネルギー消費を中心としてー 安藤 繁((社)日本ファシリティマネジメント推進協会) 3) 介護施設における急速脱臭機の脱臭効果 齊藤 真理(三菱電機(株))
12:00	Luncheon Seminar (株)セントラルユニ 「手術室環境に‘+人間的要素’をー ー輻射式空調システムの導入事例～‘風’の調温から‘壁’の調温へー 講 師：葛 隆生(北九州市立大学)	Luncheon Seminar 医療法人社団千禮会 座 長：下門 顕太郎(東京医科歯科大学) 「漢方、アンチエイジングと健康ー生活習慣病、食養生、薬膳と美容ー」 講 師：信川 敏子(千代田漢方内科クリニック、医療健康科学研究所) 「医療健康科学研究所／日本健康科学学会認定健康科学研修ー薬膳コースー」 講 師：金子 明寛(日本健康科学学会、東海大学医学部)	Luncheon Seminar (株)ケアコム 「病床における情報の共有化」 座 長：池川 充洋((株)ケアコム) 講 師：横井 郁子(東邦大学)	
13:00				
13:30	基調講演 13:30～14:10 生活支援・医療連携・生きがいづくり実現のための医療・福祉設備ー地域づくり、都市開発と医療・福祉施設のICT化ー 座 長：森村 潔((株)森村設計) 講 師：信川 益明(医療法人社団千禮会)	講演Ⅲ 13:30～15:00 高齢者向け空間のシステムデザイン<今> 座 長：馬場 祐輔(清水建設(株)) 「高齢者の視覚特性と光・色の見え方」 講 師：岡嶋 克典(横浜国立大学大学院) 「快適環境を生み出す空調技術」 講 師：岡本 誉士夫(ダイキン工業(株)) 「ホスピタルアート その目的と役割ーこの12年間の取り組みー」 講 師：福田 恵子((有)福田恵子オフィス)	シンポジウムⅣ 13:30～15:00 病院のごはん 座 長：中山 茂樹(千葉大学大学院) 「病院経営とマネジメントの観点からみた栄養管理」 講 師：河合 洋見(帝塚山大学) 「リハビリテーション病院における食事の意義」 講 師：猪川 まゆみ(初台リハビリテーション病院) 「建築・設備計画の立場からみた病院給食」 講 師：石橋 達勇(北翔大学)	一般演題 13:30～14:20 「医療・福祉設備・機器、臨床工学・安全管理」 座 長：辻 吉隆((株)竹中工務店) 4) 簡易シールドルームによる携帯電話最大出力状態での機器影響評価 加納 隆(埼玉医科大学) 5) 感染リスク低減と温熱環境改善を目的とした手術室空調方式 その1 加藤 正宏(鹿島建設(株)) ーCFDによる空調吹出方式の比較ー 6) 感染リスク低減と温熱環境改善を目的とした手術室空調方式 その2 権藤 尚(鹿島建設(株)) ー実験による空調吹出方式の比較ー
14:00				
14:10	シンポジウムⅠ 14:10～15:40 ICTが医療・福祉施設環境を変える 座 長：信川 益明(医療法人社団千禮会)			
14:20	「医療・福祉設備としてのICTネットワークの役割と現況」 講 師：岩丸 宏明（シスコシステムズ合同会社） 「患者中心の医療のためにICTができること」 講 師：田中 康太郎(日本電気(株)) 「地域の医療と福祉を支えるICT」 講 師：梅崎 泰司(富士通(株)) 「千年に一度の大災害にも生き残れる健康・医療・薬剤情報システムについて」 講 師：米田 進(ソフトバンクテレコム(株)) 増山 茂(東京医科大学病院) 「移転開院後の7年を振り返り見て」 講 師：佐藤 譲(公益財団法人日本心臓血管圧研究振興会附属 榊原記念病院)			
14:30				活動報告 14:30～15:00 「医療・看護」 座 長：加納 隆(埼玉医科大学) 4) 業務改善に向けたタイムスタディのあり方の研究ー看護スタッフと患者の双方の視点からー 笠原 聡子(滋慶医療科学大学院大学) 5) オーダーアラート、指示変更等の状況把握による安全管理強化の研究 酒井 文代(パナソニック健康保険組合 松下記念病院)
15:00		講演Ⅳ 15:00～16:30 高齢者向け空間のシステムデザイン<未来> 座 長：本多 敦((株)日建設計) 「健康・省エネ住宅ーこれからのすまいの基本モデルー」 講 師：伊香賀 俊治(慶應義塾大学) 「ライフログの観点から見たスマートハウスの役割について」 講 師：吉田 博之(大和ハウス工業(株)) 「住まいの心地良さを考えるー先人の知恵と先端技術の融合ー」 講 師：木村 文雄(積水ハウス(株))	シンポジウムⅤ 15:00～16:40 ロボット活用による医療・看護業務改善 座 長：久野 義徳(埼玉大学大学院) 「介護者と協調移動するロボット車椅子」 講 師：久野 義徳(埼玉大学大学院) 「起立動作補助装置と人間支援システムの開発」 講 師：山田 宏尚(岐阜大学) 「生活みまもりデータの計測とパターン把握」 講 師：森 武俊(東京大学大学院) 「シミュレータの活用によるスキル改善ー脳血管手術ロボットの例ー」 講 師：福田 敏男(名古屋大学大学院)	
15:10				一般演題 15:10～16:00 「医療安全、医療・福祉機器」 座 長：林 三千男(サクラ精機(株)) 7) EAS機器がベースメーカに及ぼす影響の警告表示に関する研究 吉田 玲央名(名城大学) 8) 公共施設に設置したAED有効利用に必要な誘導表示に関する研究 山田 哲矢(名城大学大学院) 9) 透析中の抜針予防のための体動感知センサの有用性に関する検討 高橋 良光((医)蒼龍会 東松山メディカルクリニック)
15:40	特別講演 15:40～16:40 食育のすすめー大切なものを失った日本人ー 座 長：松本 謙一(サクラグローバルホールディング(株)) 講 師：服部 幸應(学校法人服部学園 服部栄養専門学校)			
15:50				
16:00				
16:30				
16:40				
17:00				

11月10日(木)

	A会場 (605号+606号 252席)	B会場 (608号 120席)	D会場 (609号 72席)
10:00		シンポジウムⅥ 10:00～11:00 ホスピタルエンジニア (HE) の認定制度 座 長: 大道 久 (社会保険横浜中央病院) 「ホスピタルエンジニア認定制度の概要と実施要領」 講 師: 小野 哲章 (滋慶医療科学大学院大学) 「ホスピタルエンジニアの必要性」 講 師: 小室 克夫 ((財)聖路加国際病院)	活動報告 10:00～10:50 「医療安全、歯科医療」 座 長: 藤原 康人 (パラマウントベッド(株)) 6) 一般病棟における心電図モニタの安全使用にむけて (第2報) 中谷 順子 (公益社団法人日本看護協会) 7) 光機能化技術によるインプラント革命 鈴木 仙一 (医療法人社団ライオン会 ライオンインプラントセンター) 8) 在宅歯科診療患者への情報伝達方法の検討 鈴木 彰 (医療法人社団ベル歯科 ベル歯科医院)
10:30	特別講演 10:30～12:00 介護の現場を身近に楽しく表現したミュージカル“ヘルパーズ” 座 長: 長澤 泰 (工学院大学) 講 師: 中尾 ミエ (女優)		
10:50			
11:00		講演 Ⅵ 11:00～12:00 病院施設におけるエネルギー使用実態調査 座 長: 武田 晃成 (東京ガス(株)) 講 師: 本多 敦 ((株) 日建設計)	一般演題 11:00～11:50 「医療情報、IT」 座 長: 増田 順 ((株) セントラルユニ) 10) 病院ホームページにおけるクリニカルパス公開内容の調査研究 服部 暁宣 (名城大学) 11) 医療機器の安全管理と適正使用に役立つ病院間相互情報共有の研究 藤井 清孝 (名城大学大学院) 12) アクティブタグを活用した医療機器運用管理システム 花田 英輔 (島根大学医学部附属病院)
11:50			
12:00	Luncheon Seminar サクラ精機(株) 「確実な滅菌を行うための、3滅菌法」 座 長: 深柄 和彦 (東京大学医学部付属病院) 講 師: 島崎 豊 (愛知県厚生連 海南病院)	Luncheon Seminar パラマウントベッド(株) 「中小医療機関における安全管理 ーアメリカにおける支援と評価の仕組み、そして日本における取り組み事例ー」 座 長: 嶋森 好子 ((社) 東京都看護協会) 講 師: 鮎澤 純子 (九州大学大学院医学研究院)	
13:00			
13:30	第41回日本医療福祉設備学会学会長挨拶 森村 潔 ((株)森村設計)		
13:40	講演 Ⅴ 13:40～14:40 病院機能評価 ー新たな枠組みー 座 長: 小野 哲章 (滋慶医療科学大学院大学) 講 師: 大道 久 ((公財)日本医療機能評価機構)	シンポジウムⅦ 13:40～15:10 健康と安全・看護の立場から- 座 長: 佐々木 久美子 (医療法人財団慈生会野村病院) 「JCIにおける医療安全と看護」 講 師: 木下 佳子 (NTT東日本関東病院) 「災害時の看護からみた危機管理」 講 師: ソルステインソン みさえ (日本赤十字社医療センター) 「訪問看護の立場からの医療安全と看護」 講 師: 立入 悦子 ((社) 東京都看護協会城北訪問看護ステーション)	シンポジウムⅧ 13:40～15:10 医療・福祉を核とした地域づくり 座 長: 山崎 敏 (立教大学) 「医療と福祉を核とした街づくり ーユーカリが丘をケースとしてー」 講 師: 林 新二郎 (山万(株)) 「“医療を生活資源に”をミッションにした病院づくり」 講 師: 櫃本 真幸 (愛媛大学医学部附属病院医療福祉支援センター) 「安全・安心の地域拠点の構築 ーブルーオーシャン・プロジェクトー」 講 師: 高尾 佳巳 (社会福祉法人康和会)
14:00			
14:40	報 告 14:40～16:40 東日本大震災関連・各分野からのレポート アドバイザー: 園部 眞 ((独)国立病院機構 水戸医療センター) 座 長: 鈴木 明文 ((株)伊藤喜三郎建築研究所) 「3月11日から今まで」 講 師: 竹内 泰 (宮城大学) 「病院の被災状況」 講 師: 滝谷 典之 ((株)伊藤喜三郎建築研究所 仙台支店) 「手術室・医療ガス配管設備の被災状況」 講 師: 岡田 正 (エア・ウォーター防災(株)) 「インフラの被災・復旧状況」 講 師: 武田 晃成 (東京ガス(株))		
15:00			
15:10			
15:20		シンポジウムⅧ 15:10～16:40 医療・福祉現場におけるBCPのあり方 座 長: 池川 充洋 ((株)ケアコム) 「BCPを考慮した情報・設備の扱い ー阪神・淡路大震災の教訓を踏まえてー」 講 師: 宮本 正喜 (兵庫医科大学) 「医療・福祉現場における事業継続計画 (BCP) の在り方」 講 師: 榎田 貞春 ((株) インターリスク総研) 「東日本大震災を経験してBCPのあり方を考える」 講 師: 國井 重男 (東北大学病院)	一般演題 15:20～16:20 「建築・設計、規格・標準化, 調査」 座 長: 毛呂 正俊 (一級建築士事務所MORO設計監理室) 13) 院外調理システムを導入している病院給食部の運用と建築・設備 石橋 達勇 (北翔大学) 14) 次世代型エコホスピタルに関する研究 辻 裕次 (清水建設(株)) 15) 銅製器具の表面摩耗による2次元シンボルマーキングサイズ変化の研究 菊地 友樹 (名城大学) 16) 若年層の献血を増やすためのサービス提供に関する意識調査研究 小松 拓真 (名城大学)
16:00			
16:20			
16:40	閉会式 第40回日本医療福祉設備学会 副学会長 本多 敦、池川 充洋		
17:00			